音楽 指導內容確認表 平成29年4月公示 特別支援学校 小学郎·中学師学習指導要領定り 平成31年2月公示 特別支援学校 高等師学習指導要領定り

ユニバーサルフォントを 201903 | Iver.熊本大学教育学部附属特別支援学校 教材掘りおこしプロジェクト しています 高等部 一段的 2段的 3段階 (ア)音や音楽遊びについての知識や技能を ) 歌呼事項についての知識的は此た温たりとも (7) 歌叩事用についての知識的は此も温も 7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生た (7) 助明主用についての知識のは此た温たりたく (7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生か (7) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生 得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴い したりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫 1.たり1.ながら、曲の雰囲気に合いそうな表現をT したりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分 生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをも かしたりしながら,歌唱表現を創意工夫すること。 したりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。 て 自分なりに表そうとすること を自分かりに歌いたいという思いをもつこと。 ま1. 歌唱表現に対する思いや音図をもつこと。 し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。 (イ) 表現する音や音楽に気付くこと。 (イ) 次の⑦及び⑦について気付くこと。 (イ)次の⑦及び⑦について気付くこと。 (イ) 次の⑦及び印について気付くこと。 (4) 次の⑦及び⑦について理解すること。 (イ) 次の⑦及び①について理解すること。 (イ) 次の⑦及び①について理解すること。 知識 ⑦ 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ⑦ 曲名や曲想と音楽の構造との関わり ⑦ 曲の特徴的なリズムと旋律 ⑦ 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わり ⑦ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ⑦ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ② 曲名や歌詞に使われている言葉から受ける ① 声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関 (イ) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉 ② 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり ④ 曲根と歌詞の表す情景やイメージとの関わり ⑦ 声の音色や響きと発声との関わり イメージと曲の雰囲気との関わり (ウ) 思いに合った表現をするために必要な (ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の⑦ (ウ)思いに合った歌い方で歌うために必要な次 (ウ) 思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために (ウ) 思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要 (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な 次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 から⑦までの技能を身に付けること。 の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 必要な次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 必要な次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 な次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 次の⑦から①までの技能を身に付けること。 ⑦ 範唱を聴いて歌ったり,歌詞やリズムを意識 ⑦ 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を ⑦ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な ⑦ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする ⑦ 音や音楽を感じて体を動かす技能 ⑦ 範唱を聴いて,曲の一部分を模唱する技能 ⑦ 歌詞やリズム,音の高さ等を意識して歌う技能 技能 して歌ったりする技能 見たりして歌う技能 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 ① 自分の歌声の大きさや発音などに気を付け ② 呼吸及び発音の仕方に気を付けて,自然で ① 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声な ⑦ 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能 ② 自分の歌声に注意を向けて歌う技能 ② 発声の仕方に気を付けて歌う技能 ④ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能 無理のない、響きのある歌い方で歌う技能 どを聴きながら、他者と合わせて歌う技能 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う ⑤ 互いの歌声や副次的な旋律,伴奏を聴いて, 一 音や音楽を感じて声を出す技能 ⑦ 教師や友達と一緒に歌う技能 ⑦ 教師や友達と一緒に声を合わせて歌う技能 ⑦ 独唱と、斉唱及び簡単な輪唱などをする技能 声を合わせて歌う技能 (7) 異楽表現についての知識や技能を得たり生か (7) 緊楽表現についての知識や技能を得たり (7)器楽表現についての知識や技能を得たり生か (7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生か (7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生 (7) 器楽表現についての知識や技能を得たり生か したりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。 したりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器 楽表現に対する思いや意図をもつこと。 したりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出 生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをも かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。 したりしながら、器楽表現を創意工夫すること。 そうとする思いをもつこと。 つこと。 (イ)次の⑦及び⑦について気付くこと。 (イ)次の⑦及び⑦について気付くこと。 (イ)次の⑦及び⑦について気付くこと。 (イ)次の⑦及び⑦について理解すること。 (イ) 次の⑦及び⑦について理解すること。 (イ) 次の⑦及び⑦について理解すること。 知識 ⑦ 拍や曲の特徴的なリズム ⑦ リズム、速度や強弱の違い ⑦ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ② 楽器の音色の違い ⑦ 演奏の仕方による楽器の音色の違い ① 楽器の音色と全体の響きとの関わり ① 多様な楽器の音色と全体の響きとの関わり ⑦ 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わり ⑦ 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わり (ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の⑦ (ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の (ウ) 思いや意図にふさわしい表現をするために必 (ウ)思いや意図にふさわしい表現をするために必 (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要 (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な から⑦までの技能を身に付けること。 ⑦からのまでの技能を身に付けること。 要な次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 要な次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 な次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 ⑦ 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を ⑦ 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをす 所 簡単な姿譜を見てリズムや速度を意識して演 簡単な楽譜を見てリズムや速度,音色などを意 ⑦ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必 ⑦ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能 要な奏法,身体の使い方などの技能 見たりして演奏する技能 技能 ① 身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する ② 音色や響きに気を付けて,打楽器や旋律楽器 ⑦ 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識し ② 音色や響きに気を付けて,旋律楽器及び打楽 ② 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音な ② 身近な打楽器を演奏する技能 を使って演奏する技能 7 音色や響きに気を付けて演奏する技能 哭を演奏する技能 どを聴きながら,他者と合わせて演奏する技能 技能 ⑦ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度 (ň) 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせ ⑦ 各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わ ⑦ 教師や友達と一緒に演奏する技能 て演奏する技能 を合わせて演奏する技能 せて演奏する技能 (ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生 (7) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生 (7)音楽づくりについての知識や技能を得たし (7)音楽づくりについての知識や技能を得たり生 (ア) 創作表現についての知識や技能を得たり生 (7) 創作表現についての知識や技能を得たり生か かしたりしながら、次の⑦及び②をできるようにする 生かしたりしながら、次の⑦及び②をできるよう かしたりしながら、次の⑦及び⑦をできるようにする かしたりしながら、次の⑦及び①をできるようにする かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。 したりしながら、創作表現を創意工夫すること。 ⑦ 音遊びを通して、音の面白さに気付いたり。 ⑦ 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかに ⑦ 即興的に表現することを通して,音楽づくりの発 ⑦ 音遊びを通して、音の面白さに気付くこと。 音楽づくりの発想を得たりすること。 ついて発想を得ること。 相を得るマン ② どのように音を音楽にしていくかについて思 ② 音や音楽で表現することについて思いをもつこ ② 音を音楽へと構成することについて思いや意図 ② 音を音楽へと構成することについて思いや意図 (1)次の⑦及び①について,それらが生み出す面 (イ)次の⑦及び①について、それらが生み出す面 白さなどと関わらせて理解すること。 (1) 次の⑦及び⑦について,それらが生み出す 面白さなどと関わらせて理解すること。 (1)次の⑦及び①について,それらが生み出す (1)次の⑦及び①について,それらが生み出す面 (1) 次の⑦及び①について、表したいイメージと関 面白さなどと関わって気付くこと。 白さなどに触れて気付くこと。 白さなどと関わらせて気付くこと。 わらせて理解すること。 知識 ⑦ 声や身の回りの様々な音の特徴 ⑦ 声や身の回りの様々な音の特徴 ⑦ いろいろな音の響きの特徴 ⑦ いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴 いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴 ⑦ 音のつながり方の特徴 ① リズム・パターンや短い旋律のつなぎ方や重ね ① 音素材の特徴及び音の重なり方や反復,変化 ④ 音のつなげ方の特徴 ⑦ 簡単なリズム・パターンの特徴 ② リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴 対照などの構成上の特徴 (ウ) 気付きや発想を生かした表現や, 思いに (ウ) 発想を生かした表現, 思いや意図に合った表 ) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつ (ウ) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつ (ウ) 気付きを生かした表現や思いに合った表現を (ウ) 発想を生かした表現, 思いや意図に合った表 するために必要な次の⑦及び②の技能を身に付け 合った表現をするために必要な次の⑦及び① 現をするために必要な次の⑦及び②の技能を身に 現をするために必要な次の⑦及び①の技能を身に くるために必要な、課題や条件に沿った音の選 るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や の技能を身に付けること。 択や組合せなどの技能を身に付けること。 組合せなどの技能を身に付けること。 ること。 ② 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み ② 設定した条件に基づいて,即興的に音を選択し ⑦ 音を選んだりつなげたりして、表現する技能 ⑦ 音を選んだりつなげたりして表現する技能 合わせたりして表現する技能 たり組み合わせたりして表現する技能 ① 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる ♂ 教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用い ⑦ 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる ① 音楽の仕組みを生かして,音楽をつくる技能 ,簡単な音楽をつくる技能 (7)身体表現についての知識や技能を得たり 生かしたりしながら,簡単なリズムや旋律の特 (7)身体表現についての知識や技能を得たり生か (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生か (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生た したりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ (ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生 (7) 身体表現についての知識や技能を得たり生か 1.たりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体 したりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体 徴, 歌詞を感じ取り, 体を動かすことについて思 取り、体を動かすことについての思いや意図をもつ かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。 したりしながら、身体表現を創意工夫すること。 を動かすことについて思いや意図をもつこと。 を動かすことについて思いをもつこと。 いをもつこと (イ) 次の⑦及び⑦の関わりについて理解するこ (イ)次の⑦及び⑦について気付くこと。 (イ)次の⑦及び②の関わりについて気付くこと (イ)次の⑦及び②の関わりについて気付くこと。 (イ)次の⑦及び②の関わりについて理解すること (イ) 次の⑦及び②の関わりについて理解すること ⑦ 曲のリズム 速度 旋律 抽进 ⑦ 拍や曲の特徴的なリズム ⑦ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ⑦ 曲相と音楽の構造との関わり ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり 曲名,拍やリズムを表す言葉やかけ声,歌詞 ② 曲名と動きとの関わり ② 曲名や歌詞と体の動きとの関わり ① 曲名や歌詞と体の動きとの関わり ⑦ 曲想と体の動きとの関わり ① 曲想や音楽の構造と体の動きとの関わり (ウ) 思いに合った体の動きで表現するために必 (ウ) 用いや音図にこさわしい動きで表現するため (4) 用いや音図にこさわしい動きで表相するため (ウ) 思いに合った動きで表現するために必要な次 (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要 (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な 要な次の⑦から⑦までの技能を身に付けるこ に必要な次の⑦から⑦までの技能を身に付けるこ に必要な次の⑦から⑦までの技能を身に付けるこ の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 な次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 次の⑦から⑦までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見たり,拍やリズム,旋律を意識した 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを ⑦ 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、 ⑦ 示範を見て表現したり,曲の速度やリズム,曲想 ⑦ 曲の速度やリズム, 曲想に合わせて表現する ⑦ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技 意識したりして手足や身体全体を動かす技能 りして、身体表現をする技能 曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能 に合わせて表現したりする技能 技能 ② 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合 ) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に ① 音や音楽を聴いて,様々な体の動きで表現 ② 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて ① 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて ⑦ 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み わせたり、即興的に動いたりしてまとまりのある表 まとまりのある表現をする技能 合わせてまとまりのある表現をする技能 動かす技能 する技能 身体表現をする技能 現をする技能 ⑦ 教師や友達と一緒に体を使って表現する技 友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現し ⊙ 教師や友達と一緒に体を動かす技能 ⊙ 友達と動きを合わせて表現する技能 ⑦ 友達と動きを相談して、合わせて表現する技能 友達と動きを組み合わせて表現をする技能 (ア)音や音楽遊びについての知識や技能を (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしなが (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりし (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしなが (ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしな (7) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしなが 得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴い (7)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしなが ,身近な人の演奏を見たり,体の動きで表したり ながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くこ ら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味 がら,曲や演奏のよさなどを見いだし,曲全体を ,曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え, て,自分なりの楽しさを見付けようとするこ ら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。 しながら聴くこと。 わって聴くこと、 味わって聴くこと。 曲全体を味わって聴くこと。 (イ) 曲想及びその変化と,音楽の構造との関わり (イ)身近な人の演奏に触れて,好きな音色や楽器 (1) 曲想や楽器の音色,リズムや速度,旋律の (イ) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりに (イ) 曲想と音楽の構造等との関わりについて理解 (イ) 聴こえてくる音や音楽に気付くこと。 (1) 次の⑦及び①について理解すること。 の音を見付けること。 特徴に気付くこと。 ついて分かること。 について理解すること。 すること。 知譜 ⑦ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わり ⑦ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などと ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感 知識 ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。 共通 受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符,休符,記号や用語について,音楽における働きと関わら イ音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わら イ 絵譜や色を用いた音符 休符 記号や用語について 音楽における働きと関わらせて その音味に触れること せて理解すること。 2段階 3段階 2段階